

特定健診を受けましょう

特定健診は、メタボリックシンドロームを中心とした生活習慣病の芽を見つけて、発症や重症化を予防し、早期に対処するための健診です。



【村特定健診の実施について】

5月中旬頃から、健診申込書を順次送付しますのでご確認ください。

- ・国保若者健診(20～39歳)は集団健診のみ実施します。
- ・特定健診(40～74歳)は集団健診と個別健診を実施します。

形式	日程	通知時期	会場・健診機関
個別健診	8月1日(木)から 令和7年2月28日(金)	7月末 (案内と受診券を送付します)	村内医療機関 熊本セントラル病院
集団健診	8月下旬から 9月中旬頃の数日間	8月上旬 (問診票とあわせて日程・会場を通知します)	

※日時の希望は、健診申し込み時にはできません。8月上旬に送付する通知がお手元に届き次第、その中に記載してある「問い合わせ先」にご相談ください。

【個人負担について】

個人で受けると約10,120円かかる健診を、少ない負担額で受けることができます。昨年度から引き続き健診を受ける人は、さらに個人負担額が少なくなります。

対象者	検査内容	個人負担額
若者健診、特定健診を受ける20歳から74歳の国保加入者	血圧、身体測定 尿検査、血液検査 心電図、眼底検査	1,500円
昨年度から引き続き(継続受診の人)健診を受ける国保加入者		800円

村の歴史的石積みが再構築されました

九州大学景観研究室は、令和4年度に村の石積みについて約8カ月間におよぶ調査を実施し、村内には5,000以上もの石垣が存在していることを明らかにしています。これは全国に比類のない規模であり、村らしさを構成する大切な歴史的文化的の一つであると言えます。

村の石積みの多くが熊本地震を経ても崩壊しておらず、その1つである川後田地区の石積み(延長11m、高さ1.3m)を実際に解体し、構造について調べられましたが、石積みを安定させるためにさまざまな工夫がされていることが明らかになりました。こうした工夫(技術)を引き継ぐために、令和5年度には村内の建設業者を対象に、技術を学びながら解体した石積みを積み直す研修会が実施され、今年3月に川後田地区の石積みが再構築されました。



解体前



再構築中



再構築後